

岡山市区づくり推進事業助成申込書
(地域活動部門)



令和 6年 1月16日

岡山市長 大 森 雅 夫 様

フリガナ ミナチユウカ'ッコウチイキサエアイカツ'ウシ'ッコウインカイ
団体名 御南中学校区地域支え合い活動実行委員会
所在地
連絡先
フリガナ
代表者

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ☒ ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	地域支え合い活動「ハチドリのひとしずく」
事業実施小学校区・地区	西小学校区・御南小学校区
事業実施回数	新規 ・ ☒ 継続 2回目 / 【令和5年度から】
課題	※地域の实情と解決をはかりたい課題、事業実施の必要性について記載してください。 【地域の实情】 御南中学校区は、郊外型の新興住宅地や商業地から成る人口流動性の大きな地域であり、生活の利便性が良いことから転勤族を含む若い子育て世代が多く住んでいる一方で、地元で長く暮らしている高齢者も多く住んでいる地域です。 ・15歳未満児童数:5,228人 人口比率:16.3% (0-4歳:1816人, 5-9歳:1738人,10-14歳:1674人) ・65歳以上高齢者数:4,629人 人口比率:14.4% [岡山市統計データ:R5年4月現在] ①人口流動性の大きい御南中学校区では、住民の生活形態の違いや価値観の多様性を有する他、子どもの監護が困難な家庭が一定数の割合で存在している等で中学校が「荒れて」いた時期がありました。 この対応として、平成24年10月に御南中学校区地域協働学校を立ち上げ、「地域の子どもは地域で育てる」コンセプトの基に地域と学校園が協力して子ども達を見守り・育む活動を開始し、現在も地域の最重要課題として継続して取り組んでいます。 地域住民は、地域協働学校を構成する6部会に分かれ活動しており、中でも以下の2部会は「小学生の段階で郷土愛を育むことを目指し」地域力を結集して活動しています。 ・地域連携推進部会:地域行事を企画・開催し、児童と保護者の参加を促し、中学生ボランティアの協力を得て地域住民との交流促進を図る、ことを推進する部会 ・就学前保育教育部会:私立や小規模園を含む保育園・幼稚園・子ども園を対象に、幼児の安全・安心への取組み、支援を必要とする子どもの就学相談、幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿、地域との連携、の情報交換と講話会等の実践を推進する部会 一方、就園前の乳幼児の見守りは、地域で見守る仕組みが無く脆弱な状況です。

	②御南中学校区には、高齢化率は低いですが4,600人を超える高齢者の方がお住まいです。 又、学区内には、ひらた旭川荘,児童養護施設南野育成園等の福祉施設やグループホーム、 県立岡山西支援学校が在り、大勢の障がい者、生活弱者の方が学び生活されています。 中学校区では、子ども～高齢者、新旧の住民、健常者・障がい者・生活弱者の方等、総ての 住民が「支え合い・笑顔でふれあい・ゆとりを持って」共に生きることができる福祉の町づくりを 目指しており、学校園、福祉施設を含む諸団体が協働し、交流の場づくり、居場所づくり、生き がいくつくり に取り組んでいます。 【解決を図りたい課題】 ①御南中学校区では、子どもを基軸においた町づくりを進めていますが、この町づくりにおける 重要課題は、核家族化の影響による子育て世代の孤立化の解消です。 具体的には、御南中学校区には、転勤等で転入されて来た子育て世代や就園年令に達して いない子育て世代が一定数いますが、その大多数は核家族であり新たな居住地での子育てに 不安や悩みを抱えられており、子育て支援の場を必要とされています。 ②若い子育て世代を中心にした新しい住民が増えています、昔から住んでいる住民との交流の 場が少なく、新旧の住民間に溝が生じており、この溝の解消が必要です。 又、現状の地域運営は、昔から住んでいる住民が中心になって担っていますが、当中学校区で 多数を占め今後を担うのは転入されてきた子育て世代の住民であり、新旧住民間での伝承活 動の推進が重要課題のひとつです。 この課題解決には、まずは地域活動に興味を持ってくれる住民を増やすことであり、その手法 の一つとして「交流の場をつくり、増やす」ことが今取り組むべき課題の一つです。 【①の課題の取り組み状況】 ・御南西公民館においては、地域住民が主体的に関わる3コースの子育て支援講座を各々月1 回程度開催していますが、受入人数に制限がある、決められたプログラムで進行するので自分 の都合の時間帯で参加できない、開催日数が月1回以下と少ない、等の利用し難い面があり、 利用者の多様なニーズに答えきれていない面があります。 ・御南小学校区においては、御南西公民館の実情を踏まえ、平成27年からベターライフ御南と NPO岡山市子どもセンターが協働し、旧白石幼稚園跡地を会場に子育て支援事業「御南和や かサロン」を週2日開催しており、現在は15組の親子が利用しています。 ・西小学校区においては、(株)ミナモト建築工房が母体のボランティア団体「くらしのたね」が、 令和4年度から自社ビルを会場に12組の就園前親子の子育て支援事業を開始しました。 当事業に対する地域のニーズは高く、令和5年5月時点で23組の就園前親子が利用しており 事業規模(場所・内容)を拡充し対応していますが、いちボランティア団体が主体の事業形態 では今後も安定して事業を持続することが困難になると予測しております。 この子育て支援事業は、中学校区全体で継続して取り組むべき事業と判断し、昨年6月に御南 中学校区諸団体が協働する実行委員会を立ち上げ、くらしのたねが主催していた子育て支援 事業と地域交流事業を継承する地域支え合い活動として区づくり推進事業の助成を申込み、 指定を受けた9月より活動を開始しております。
事業の目的	※事業を実施する「目的」を記載してください。 ①子育てを始めた若い子育て世代を経験豊かなボランティアスタッフが支えることで子育て世代の 孤立化を防ぎ、子育てが楽しいと思える親を育て親子の情愛を深める活動を目指します。 更に、幼児期から地域住民とふれあい・交流し・会話することで、親子の自己有用感を醸成し高 める活動にしたいと考えています。 ②産前産後から子育て期間中の切れ目なく支え合う場づくり活動を通して、子育てし易い地域・ 暮らしやすい地域づくりを目指します。 ③地域の新旧の住民が交流する場づくり活動を定期的且つ継続して実施することで、多世代 間に顔の見える関係性を構築し、災害発生時等に支え合える地域づくりを目指します。 又、活動の中で地域運営の担い手を見いだし育む活動にしたいと考えています。 ③地域の高齢者が、小さな子どもや多世代の人とふれあい支え合い活躍することで、やりがい、 生きがいに繋がる活動を目指します。

※具体的に実施する活動内容を箇条書きで記載してください。

1. 地域子育て支援事業「たねっこ」の開催

くらしのたねが主催していた「自主保育・たねっこ」事業と、「ネウボラおかやま つながるおしゃべり会」の枠組みを見直し、「地域で子どもを育てる」をコンセプトに地域子育て支援事業「たねっこ」にリニューアルし開催しています。

①地域子育て支援事業「たねっこ」の事業内容

コンセプト:「地域で子どもを育てる」

地域住民・地域団体が主体になり、「みんなでみんなを見る」スタイルで子どもを真ん中に多世代が交流できる活動を行います。

活動には、多世代の地域の方が見守りボランティアとして参加し、親子にとって、家族でも、教師でもない第三者との関係＝「ななめの関係」づくりを目指します。

開催日時:毎週金曜日 10:00～14:00

開催場所:北長瀬未来ふれあい総合公園みはらしプラザ

対 象:御南中学校校区を中心とした就園前・就学前の親子。 ※体験参加は随時可能

活動内容:○お誕生会(毎月1回) ○季節の行事 ○手づくり調理(味噌、梅仕事等)

○工作活動 ○身体測定 ○公園の中で自然体験(外遊び、お散歩)

○野外調理 ○農園活動(ランチ内花壇) ○講演会・勉強会(年2回)

○産前産後のおはなし会(月1回開催 ※随時参加可能)

◎炊出し調理(炊出し訓練を兼ねた調理づくり。月1回開催)

◎見守り愛活動(自分の子どもと行動を共にしている他の子どもも見守る活動)

注)○はR5年度実施事業

◎はR6年度から取り組む事業:詳細は前年度からの見直し拡充点に記述します。

[事業に関する補足のご説明]

*1 スタッフの体制

当事業は、くらしのたねが主催していた事業の枠組みを見直し継承しています。スタッフについても、継承時の専門職スタッフを配置し安全・安心感を担保しつつ、地域のボランティアスタッフを養成しながら運営し、将来は専門職スタッフを地域のボランティアスタッフに順次置替えることを目指しています。

・R5. 9月 専門職スタッフ6名と地域のボランティアスタッフ2名で事業開始

・R5.10月 専門職スタッフ5名と地域のボランティアスタッフ5名体制に変更

・R6. 4月 専門職スタッフ4名と地域のボランティアスタッフ6名体制に変更予定

*2 産前産後のお話し会の目的とスタッフについて

・産前産後のおはなし会は、子育てにおける悩み事を話し合い、相談する場を通して、親子の心身面の不安を和らげ且つ前向きの姿勢に導くことを目指した活動としています。

・産前産後のおはなし会のスタッフには、参加者との信頼関係の構築が必要なので、経験豊富な専門職スタッフを中心に運営します。(地域ボランティアスタッフも経験を積むために参加し、スキル習得・スキル向上に努めます)

*3 専門職スタッフ(有償ボランティア)の経費処理

当活動は、活動開始時から専門職スタッフが大勢関与しており、専門職スタッフが関与している活動を申請から除外することは現実的ではないので、専門職スタッフの経費は別枠で管理することにし、区づくり推進事業の対象外としています。

*4 開催場所:北長瀬未来ふれあい総合公園みはらしプラザで開催する理由

当事業の実施には130㎡程度の広さの部屋が必要ですが(*1)、定期的且つ継続して最も安価に実施できる規模の会場は、近隣では市有施設の北長瀬未来ふれあい総合公園みはらしプラザしか無いため、当施設を賃借して事業を開始しています。

当公園は地域防災拠点であることに加え、たくさんの方々に日常的に利用していただき、健康増進や賑わい創出 を目指してしていますので、学区民の集い・交流の場に適していると判断しており、当該施設の賃借を継続した事業実施を計画しています。

(*1) 12月末で30家族が参加しており、スタッフ等を含め80名が活動しています。放課後児童クラブの基準面積 1.65㎡/人を基に、35組参加時を想定し算出しています(90人×1.5㎡/人=135㎡)。

事業の内容	2. 地域支え合い活動【ミナモト建築工房くらしのたねビルで実施する事業】 ミナモト建築工房くらしのたねビルは災害時一時避難場所に指定されています。避難場所の周知と地域交流の場づくりのために以下の事業を実施します。 ②新春おかげまつり 開催日時: 毎年1月開催 対 象: 西小学校区を中心とした地域の方(地域による制限なし) 活動内容: 災害時一時避難場所のくらしのたねビルに地域の老若男女が集い、災害発生を想定した避難訓練や炊出しの要素を含めた、地域の交流祭りを開催します。 地域住民, 中学生ボランティア, 岡山大学教育学部ボランティアが一堂に集い、赤飯, 豚汁, 甘酒を作り、多世代参加の巨大カルタとり大会, けん玉大会, 獅子舞演舞を楽しむ、等々多世代で日本の文化にふれながら交流します。 ③敬老の日「ばら寿司」交流会 開催日時: 毎年 9月開催 対 象: 主に西学区在住の方(地域・年齢制限なし) 配食は80歳以上の高齢者 活動内容: 岡山の郷土料理「ばら寿司」を地域の有志と御南中学生ボランティア、地域の子も達で作り、会食、交流すると共に、80歳以上の高齢者に配食します。 3. 御南西公民館(指定避難所)との共催による子育て支援活動 ④子育て座談会 ～発達障害を考えよう～ の開催 開催日時: 毎月 1回開催 協働団体: 社会福祉法人南野育成園 対 象: 発達障害に関心のある地域のどなたでも 活動内容: 「発達障害」をテーマに、地域の当事者, 保護者, 地域住民, 協力団体等がざっくばらんに対話し、発達障害の理解を深めます。 4. その他本事業に関連する取り組み ⑤地域団体との協働・企画会議の実施 月1回の企画会議、年4回の運営委員会を開催し、事業計画策定や詳細決め、活動の振り返り、新たな課題や地域情報の共有を行います。 ・企画会議: 毎月 1回開催、役員+子育て支援事業担当による課題検討会 ・運営委員会: 年 4回開催、全員参加による事業進捗状況の報告・検討会 ⑥地域交流の広がりについての取り組み。 地域の諸会議、地域行事等に出向き、本事業の案内を行います。又、御南和やかサロンとの互恵関係を強化し相互のPR活動を行います。
期待される成果・目標	※事業実施することで、変化すること、期待している成果、事業実施後にどこまで達しておきたいか「目標」を記入してください。 ・子育て支援活動によって、子育てを地域のみんなで見守ることで「ひとりじゃない」安心感を生み、産後鬱、育児ノイローゼなどで悩む保護者が減少することを期待しています。 ・当公園で地域主体の子育て支援活動を実施することは、「人格形成期」と呼ばれる乳幼児期にとって重要な自然体験(季節ごとの特色ある自然を肌で感じる)を实践でき、「生きる力」を育むことが期待できます。 ・活動を、北長瀬未来ふれあい総合公園(地域防災拠点)、くらしのたねビル(岡山市災害時一時避難場所)、御南西公民館(指定避難所)の3拠点を中心に行い、それを広報することで、地域住民の防災意識を喚起し「災害に強い地域づくり」に貢献することが期待できます。 ・多世代が交流し繋がることで「顔の見える関係性」が構築でき、災害発生時に支え合える「災害に強い地域づくり」に貢献することが期待できます。 ・高齢者のやりがい、生きがいにつながり、地域がさらに活性化することが期待できます。 ・中学生や大学生の参加・協力を得ることで活動の厚みが広がり、地域の活性化が一層増すこと期待できます。 また中学生については、地元への愛着心を育み、地域の次世代の担い手となることを期待しています。

企画などの工夫	※通常、日常的に実施している事業をそのまま提案された場合は、対象とならない可能性があります。区づくり推進事業の申請にあたって、何をどう変えたのか、どこに活動の目的や対象をしばったのかなど、企画にあたっての工夫をお書きください。 ・御南中学校区は、子育て世代と転勤族が多い地域性から郷土愛が希薄な部分があります。子育て世代を真ん中におき 自己有用感を育む事業展開を推し進め、郷土愛の醸成と地域力向上につなげます。 ・地域のシンボリック的存在であり災害時は地域の防災拠点となる北長瀬未来ふれあい総合公園で幅広い地域活動を行う事で、様々な住民に地域づくりの様子をお伝えでき、また参加して頂くことができます。又、当該公園を開催場所としたことで、以前はできなかった菜園での収穫や公園の遊具で遊ぶ等の屋外活動ができ、親子が躍動できる範囲が広がっています。 ※実例として、地域の高齢者のご夫婦が立ち寄りられ関心を持たれていた。公園に遊びに来ていた親子が体験されその後入会された事例が複数あり(事例の一つに、中区の方が入会され、バス等の公共交通機関を乗り継いで参加されている事例があります)この、総合公園で事業を行うメリットがでていることを実感しています。
協働する団体等	※事業実施にあたり協働することを想定している団体・企業・大学等の名称とその団体間の役割分担について記載してください。あるいは提案団体が既に協働組織となっている場合は、事業実施メンバーの備考欄に団体名をご記入ください。 西学区連合町内会、御南学区連合町内会、くらしのたねを中心に実行委員会を構成します。尚、二期目も当事業実施に一日の長がある「くらしのたね」が中心的役割を担います。 ①西学区愛育委員会、②御南学区愛育委員会:実行委員会への参画と事業協力 ③西学区婦人会:子育て支援活動や新春おかげまつりへの協力 ④西地区社会福祉協議会、⑤御南学区社会福祉協議会:実行委員会への参画と事業協力 ⑥辰巳町内会:敬老の日「ばら寿司」交流会への協力、子育て支援活動への協力 ⑦御南西公民館:子育て座談会等の共催活動、御南西公民館便りへの広報 ⑧ベターライフ御南:実行委員会への参画と事業協力 ⑨(株)ミナモト建築工房:会場の無償提供の協力等 ⑩岡山市立御南中学校、⑪岡山大学教育学部:学生ボランティアスタッフの参加協力 ⑫社会福祉法人南野育成園:子育て座談会への協力 ⑬都市の森ファーマーズクラブ(TFC):子育て支援活動への協力、農園活動への協力 ⑭山陽学園大学:インターン実習による活動参加、学生ボランティアの参加協力
事業の情報公開	※区づくり推進事業は、広く区民への情報提供することが義務づけられています。地域住民をはじめ区民への情報提供、あるいは情報公開の仕方についてご記入ください。 ・くらしのたねインスタグラム、Facebook、HP 等の SNS による広報。 ・西学区電子町内会への掲載。 ・西学区町内会、御南学区町内会への広報誌の回覧。 ・西学区の教育保育機関への広報。 ・御南西公民館の公民館便りへの広報掲載。
学区地区への広がり	※小学校区・地区より狭い範囲(単位町内会等)での事業を実施される場合は、学区・地区等への活動の広がりや課題の共有などをどのように進めていきますか。取組方について記載してください。 ・初年度の活動の記録・成果・課題の整理、地域ボランティアの活動の概要を小冊子にまとめ活動のノウハウとして蓄積すると共に広報にも活用します。2年目も同様に取り組みます。 ・御南学区への広報誌回覧を継続します。 ・御南学区在住の中学生ボランティアに積極的に参加して頂き、御南学区に帰り広報して頂くことで御南学区への浸透を図ります。 ・ベターライフ御南との情報交換を定期的に行い、情報の共有化を図ります。 ・SNS ツールを活用することで、他の学区へ情報発信しノウハウの共有化を図ります。

前年度からの見直し拡充点	※継続事業で申請される場合は、前年度の事業の成果を踏まえ、今年度の事業の改善・拡充点を記載してください。また審査会での助言・コメント等について改善・拡充したこと、改善・拡充ができなかった場合は、改善・拡充ができなかった理由を記載してください。 1.今年度事業の改善・拡充点 基本的には前年度の事業内容を継続しますが、下記2点の改善・拡充を計画しています。 ①炊出し調理(月1回) 現在行っている屋外調理の内1回を、炊出し訓練を兼ねた炊出し調理に変更する計画で進めています。炊出し調理では、カレー、豚汁、炊込みご飯のおにぎり等を大量につくる予定であり現在使っているカセットボンベでは火力が弱いので、みはらしプラザのキッチンを賃借し(5,500 円/回の予定)火力の強いガスコンロを使う計画で進めています。 ②見守り愛活動 子ども達の行動を観ると、近い年令の子ども達で行動することが多く、複数のお子さんの母親は異なる場所で行動している複数の我が子を見守ることは難しいので、一人一人の母親が子ども達全員に我が子と同じ愛情をもって見守る「見守り愛」活動を推進し、子どもの行動を制限すること無く安全・安心を担保して行きます。 2.審査会での助言・コメントに対する改善・拡充状況 ①事業の実施範囲について、特定の人達のだけの活動ではなく、地域の多様な人が関わる等広げる努力をしてください 当事業は、御南中学校区において、今 最も見守りが必要な就園前の乳幼児親子、高齢者を主な主対象にした事業であり、対象者の層は限定されていますが、活動を支える側は中学生、大学生、地域のボランティアスタッフが関わっていますので、次年度以降も周知・広報に努めると共に、支える側を拡充することを重点に取り組んで行きます。 ・SNSを活用した情報発信(広報活動)を行い、子育て世代の目に留まる機会を増やしています。この情報発信が新規参加者の増加に繋がっていますので今後も継続します。 ・広報誌を毎月1回発行し、西学区と御南学区の各町内会へ回覧、西学区電子町内会(HP)〈e-回覧物〉に掲載、等の広報活動により、より多くの住民に周知できるよう努力しています。 ・本事業の取り組みを、ESD・市民協働推進センター発行の「おかやま地域づくり通信」に掲載いただき、住民への周知・広報にご助力頂きました。 ・又、御南中学校区地域協働学校と一緒に活動している御南地区青少年育成協議会発行の「育成協だより」(3 月末発行)に掲載する予定であり、地域に周知・広報する機会を拡げることにも努めていますので、今後も様々な機会を通して周知・広報を行います。 ②経費について、消耗品費、会場使用料、原材料費が多いので支出を抑える工夫をしてください 当事業を進めるにあたり、公園管理運営者に地域子育て支援活動の趣旨にご賛同頂き、会場使用料を半額にして頂く、使用する資器材を地域から借用する、野菜を住民から寄付して頂く等の工夫と努力を行っており、今後も継続して行きます。 尚、今年度、キッチンの賃借で¥66,000/年の支出増となりますが、ピクニック、運動会等の会場使用料が発生しない行事を行い会場使用料を減らす等の様々な工夫を行い、支出を抑えることに努めています。
	※今年度の事業を受けて次年度以後どのように活動を展開していくか、また資金の確保をどのように進めていくかをご記入ください。 ①次年度以後の活動計画 持続可能な地域活性化のための事業として、次年度以降も共感者を増やし利用者に満足だけの事業を事業にすることを心がけ、内容を見直しながら継続していきます。 ②資金の確保について ☒ 次年度も区づくり推進事業を申請する予定 ☐ () 年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。 資金確保の具体的な方策：
次年度以降の予定	

その他PRしたい点	・事業名称に使用している「ハチドリのひとしずく」は、南米のアンデス地方に伝わる話で、明治学院大学国際学部教授の辻信一さんが翻訳し日本に紹介してくださいました。メンバー一同この話しの精神を忘れずに実践して行きます。 ・四季を大切にした年間スケジュールを決め、利用者の募集・決定を行います。随時での参加希望者は受け入れ可能な体制をとっています。 ・多様な、住民・団体・企業・公的機関との連携により、地域で子育てしやすいまちづくりのモデルケースとなることを目指します。 ・御南西公民館との共済事業「子育て座談会」は、当初くらしのたね単独で始めた事業ですが、公民館との共催開始から4年目を迎える、地域に根付いた活動となっています。 ・「食べることは生きること」を大切に、『まごわやさしい』献立にし、お菜やおやつは、可能な限りアレルギーに配慮し、乳・小麦・卵・大豆を抜いてつくっており、抜けない食材はアレルギー表示をするなど、安心安全な食活動を心がけています。
------------------	---

事業スケジュール (企画会議や反省会も含めてご記入ください。日程が未定の場合は月だけで結構です。)

月日	活動内容
4月	・企画会議。運営委員会。(於:北長瀬未来ふれあい総合公園みはらしプラザ) ・子育て支援事業「たねっこ」開催(毎週金曜日10:00～14:00) [内1回 産前産後のおはなし会を開催] ・子育て座談会 ～発達障害を考えよう～開催(第3金曜日10:00～於:御南西公民館)
5月	・企画会議(於:北長瀬未来ふれあい総合公園みはらしプラザ) ・子育て支援事業「たねっこ」開催(毎週金曜日10:00～14:00) [内1回 産前産後のおはなし会を開催] ・子育て座談会 ～発達障害を考えよう～開催(第3金曜日10:00～於:御南西公民館)
6月	・企画会議(於:北長瀬未来ふれあい総合公園みはらしプラザ) ・子育て支援事業「たねっこ」開催(毎週金曜日10:00～14:00) [内1回 産前産後のおはなし会を開催] ・子育て座談会 ～発達障害を考えよう～開催(第3金曜日10:00～於:御南西公民館)
7月	・企画会議。運営委員会。(於:北長瀬未来ふれあい総合公園みはらしプラザ) ・子育て支援事業「たねっこ」開催(毎週金曜日10:00～14:00) [内1回 産前産後のおはなし会を開催] ・子育て座談会 ～発達障害を考えよう～開催(第3金曜日10:00～於:御南西公民館)
8月	・企画会議(於:北長瀬未来ふれあい総合公園みはらしプラザ) ・子育て支援事業「たねっこ」開催(毎週金曜日10:00～14:00) [内1回 産前産後のおはなし会を開催] ・子育て座談会 ～発達障害を考えよう～開催(第3金曜日10:00～於:御南西公民館)
9月	・企画会議(於:北長瀬未来ふれあい総合公園みはらしプラザ) ・子育て支援事業「たねっこ」開催(毎週金曜日10:00～14:00) [内1回 産前産後のおはなし会を開催] ・9月16日(月・祝) 敬老の日「ばら寿司」交流会(於:ミナモト建築工房ビル) ・子育て座談会 ～発達障害を考えよう～開催(第3金曜日10:00～於:御南西公民館)
10月	・企画会議。運営委員会。(於:北長瀬未来ふれあい総合公園みはらしプラザ) ・子育て支援事業「たねっこ」開催(毎週金曜日10:00～14:00) [内1回 産前産後のおはなし会を開催] ・子育て座談会 ～発達障害を考えよう～開催(第3金曜日10:00～於:御南西公民館)
11月	・企画会議(於:北長瀬未来ふれあい総合公園みはらしプラザ) ・子育て支援事業「たねっこ」開催(毎週金曜日10:00～14:00) [内1回 産前産後のおはなし会を開催] ・子育て座談会 ～発達障害を考えよう～開催(第3金曜日10:00～於:御南西公民館)
12月	・企画会議(於:北長瀬未来ふれあい総合公園みはらしプラザ) ・子育て支援事業「たねっこ」開催(毎週金曜日10:00～14:00) [内1回 産前産後のおはなし会を開催] ・子育て座談会 ～発達障害を考えよう～開催(第3金曜日10:00～於:御南西公民館)
1月	・企画会議。運営委員会。(於:北長瀬未来ふれあい総合公園みはらしプラザ) ・子育て支援事業「たねっこ」開催(毎週金曜日10:00～14:00) [内1回 産前産後のおはなし会を開催] ・子育て座談会 ～発達障害を考えよう～開催(第3金曜日10:00～於:御南西公民館) ・1月13日(月・祝) 新春おかげまつり(於:ミナモト建築工房ビル)
2月	・企画会議(於:北長瀬未来ふれあい総合公園みはらしプラザ) ・子育て支援事業「たねっこ」開催(毎週金曜日10:00～14:00) [内1回 産前産後のおはなし会を開催] ・子育て座談会 ～発達障害を考えよう～開催(第3金曜日10:00～於:御南西公民館)
3月	・企画会議(於:北長瀬未来ふれあい総合公園みはらしプラザ) ・子育て支援事業「たねっこ」開催(毎週金曜日10:00～14:00) [内1回 産前産後のおはなし会を開催] ・子育て座談会 ～発達障害を考えよう～開催(第3金曜日10:00～於:御南西公民館)

収支予算書

収 入

単位:円

項 目	前年度決算又は 決算見込額	予 算 額	内 容
岡山市補助金	1,208,400	1,089,000	
実施団体負担金	0		
参加者負担金	270,000	729,000	子育て支援活動参加費648,000円(2,000円×27組×12ヶ月)、手づくり調理81,000円(1,500×2回×27組)
参加者負担保険料	3,200	21,600	障害保険800円/年×27組
協賛金	11,500	328,400	ミナモト建築工房 308,400円、連合町内会 20,000円
寄附金、他収入	5,000	10,000	地域団体、住民等
収入合計	1,498,100	2,178,000	

支 出

単位:円

項 目	前年度決算又は 決算見込額	予 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	330,000	235,000	調理器具13,000円、タープ1張15,000円、カート1台12,000円、ブルーシート3,000円×2枚=6,000円、のぼり旗2枚6,000円、文房具(色鉛筆、マジック、のり等)6,000円、画用紙、模造紙、折紙等8,000円/月×12=96,000円、ばら寿司テイクアウト容器 20,000円、おかげまつり炊き出し容器(350人分)等25,000円、子育て関連書籍・絵本10,000円、ビニール手袋、アルコール消毒スプレー、ウェットティッシュ、ペーパータオル等26,000円
②食糧費	10,800	21,000	会議用お茶、行事用お茶
③印刷製本費	24,500	33,600	広報誌、企画会議資料印刷 4円×700枚×12ヵ月
④燃料費	15,000	15,500	野外調理炭1,000×5箱=5,000円、カセットボンベ代3本15セット700円×15=10,500円
⑤光熱水費	0	0	
⑥通信運搬費	5,000	5,000	協働団体等への企画会議案内、広報誌等の郵送等
⑦広告料	0		
⑧手数料	3,000	3,000	振込手数料等
⑨使用料・賃借料	369,200	840,800	会場使用料(11,000円×46回=506,000円) キッチン使用料(5,500円×12回=66,000円) 駐車場代(700円×8名×48回=268,800円)
⑩原材料費	592,000	899,000	たねっこ原材料(500円×27組×48回=648,000円)手づくり調理材料費(1,500×2回×27組=81,000円)、ばら寿司調理材料費120名分計85,000円、新春おかげまつり炊き出し材料費350名分計85,000円
⑪委託料	15,400	18,500	新春おかげまつり警備員1名
⑫工事請負費	0	0	
⑬報償費	70,000	70,000	講師代20,000円(10,000円×2回) 出演謝礼50,000円×1名
⑭保険料	3,200	26,600	個別傷害保険800円/年×27組、活動保険5,000円
⑮旅費	10,000	10,000	10,000円×1名
小計(①)	1,448,100	2,178,000	
⑯新型コロナウイルス感染症防止対策経費	50,000		
小計(②)	50,000	0	
支出合計(①+②)	1,498,100	2,178,000	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください。)

補助金(3/4)の概算払いを	☒ 希望する	☐ 希望しない
----------------	---------------------------------------	-----------------------------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください。

消耗品購入など、事業開始後すぐに支出が生じ、それを円滑に支払う必要があるため。

- 内容欄へは使用用途等を記入してください。
- 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。